

英字新聞の読み方 基礎編その2

P a r t 5

例文 4

DPRK shells South Korea island, killing 4

(北朝鮮、韓国の島を砲撃、4人死亡)

SEOUL ---North Korea / fired dozens of rounds of artillery / onto a South Korean island / near the tense western sea border / on Tuesday, / killing two South Korean soldiers and two civilians / and warning of further strikes, / the South Korean military said.

(カンドころ) 見出しの DPRK は北朝鮮の名称の略語。本文の冒頭の SEOUL (ソウル発) の部分はデートラインと呼ばれ、発信地を示した地名をつけてあります。元々はここに発信日も入っていましたが、本文中に Monday, Tuesday などと曜日をいれますから、今では地名だけで日付は省略されるようになりました。呼び名だけがかつてのまま残っています。本文の主語は、太字の North Korea、次に動詞の fired、次に目的語が並んでいます。そして状況説明を後段の killing ... and warning ... とまとめてあります。最後は例によって情報源で終わっています。

(語い) DPRK (Democratic People's Republic of Korea) : 朝鮮民主主義人民共和国、shell : 砲撃する、fired : 発砲した、dozens of rounds of artillery : 一連多数の砲弾、the tense western sea border : 緊迫の西部海境界、South Korean soldiers : 韓国兵士、civilians : 一般市民、further strikes : さらなる砲撃

(区切りで順に訳すと) 北朝鮮は／一連多数の砲弾を発砲した／韓国の島へ向けて／緊迫の西部海境界付近の／火曜日／(それは) 2人の韓国軍兵士と2人の民間人を殺害し／さらなる砲撃を警告して／と韓国軍は発表した

肝心な部分は、「北朝鮮が韓国側の島を砲撃した」です。